

新年明けましておめでとうございます。

新春のご挨拶を申し上げますとともに、
皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

新病院に移転して1年を無事に終えることができ、新たな年を迎えることができましたのも職員は基より地域の皆様に支えられてのことと深く感謝いたします。
本年の干支は甲辰（きのえたつ）です。「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。
そのため令和6年辰年は、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年とされているようです。

練馬光が丘病院も昇龍のように、更なる最先端医療の提供とあたたかい看護をお届けできるよう努力していく所存です。本年が皆様にとって更なる成長と夢の実現の良いお年となりますよう祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



看護部長
おおしろ ゆうこ
大城 優子

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと
心からお慶び申し上げます。

当院は一昨年の10月に新病院に移転し早いもので1年が経過いたしました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の診療を継続しつつ、病院の体制を平常運営に戻すべく組織体制の強化を図った1年だったと思います。各医療機関様や患者様、地域の皆様のご指導、ご協力のおかげで、少しずつ前に進むことができた年でした。ありがとうございました。

また、12月に受審した病院機能評価は、内なる充実を図るきっかけとなり、次のステージの「病院の質」の向上につながると確信いたしております。

今年は病院の安定化を図る大切な時期になると考えております。「地域医療支援病院」として更に地元 に密着した医療機関として成長いたしたく、救急、小児、周産期、災害時、回復期等の事業に取り組み、医療安全、サービスの向上に努めて参りたいと思います。

地域の皆様の期待に応え、信頼いただけるよう、職員一同、心一つにして「皆様とともに地域の発展に貢献します」という病院理念の実現に向け、努力していく所存であります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



事務部長
ひらさわ わたる
平澤 渉

練馬光が丘病院は「公益社団法人地域医療振興協会」の運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に1987年5月に設立され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

発行元：練馬  が丘病院

〒179-0072 東京都練馬区光が丘2-5-1
TEL:03-3979-3611(代)
<https://hikarigaoka-jadecom.jp/>

きらきら・レター

Kirakira-Letter

令和6年1月

第85号

公益社団法人地域医療振興協会 練馬  が丘病院 広報紙



もくじ

新年のご挨拶 管理者…………… 2

新年のご挨拶 看護部長
事務部長…………… 4

新年のご挨拶 副管理者兼病院長
副管理者…………… 3



令和6年新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様や近隣医療機関の方々には平素より当院の運営につきご協力を頂きまして誠に有難うございます。早いもので昨年10月には新病院の開院から1周年を迎えました。大変立派になった建物で、種々の診療機能も順調に拡大、発展している事をご報告します。

当院の理念は2012年の開設時より「皆様とともに地域の発展に貢献します」であり、基本方針としての重点医療（救急医療・小児医療・周産期医療・災害時医療）とともに新病院でも変更していません。加えて診療における大方針としての「総合救急診療と専門診療は当院の診療における両輪」というコンセプトも継続しており、救急車の受け入れ強化をはじめ集中治療室（ICU）や高度治療室（HCU）における重症者診療、そして循環器・呼吸器 COPD・消化器の各センターや各診療科における専門診療の充実をはかっています。また新病院への移転前後から新たな診療科として血液内科・歯科口腔外科・脊椎外科・形成外科・放射線治療部門・感染症内科・緩和ケア科を開設してきましたが、それぞれ順調に診療活動を充実させています。

新病院では新たに5つの課題を掲げています。すなわち①循環器診療の充実：心血管診療はこれまでも先進的な対応を行ってきたが更に充実させることに加えて今後は脳卒中对応も強化する。②がん診療体制の強化：地域の高齢化の更なる進行に対応する為がん診療についても、より多くの領域や種類のがん治療を、できるだけ患者さまの体に負担にならない方法を選んで施行して地域で完結できる体制を構築する。③回復期リハビリテーション病棟の運営を安定化する。④新興感染症対策（厚労省第8次医療計画への対応）⑤診療の質を向上し患者サービスを充実する：これは今年度からの病院の中期計画においても「患者さま中心の良質で持続可能な医療を提供する」という事を最重点項目としています。今年度も外来の待ち時間対策や導線の見直し、入院食などを始めとして種々のサービスの向上に力を入れて、より多くの方々の受診時や入院時のストレスが少しでも減らせるようにと職員一同で対応してまいりたいと思います。

さて振り返れば過去4年、コロナの影響は色々ありましたが、特に感染対応の為に小児診療や分娩、一般救急、待機的手術などが一時期は制限となることもあり、地域の皆様にもご迷惑をおかけしました。一方でリモートやハイブリッドの会議・カンファランスなどの進歩が顕著で病院にとっても一大変革となりました。私どもが享受したメリットの1つに災害時対応があります。震災時の災害対策本部もグループウェア上に常設として、発災時には院内各部署の状況などが業務用スマホからスタッフによって入力され、院外からの職員の安否や登院可否確認なども含めて、院全体の被災状況などを短時間で集約します。これにより所謂サージ・キャパシティ（発災時に病院が多数傷病者を受け入れる能力）の評価が以前より容易となりました。

本年も皆様のご健康をお祈りし、またご指導を頂けますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。



管理者
みつだ まこと
光定 誠

新年明けましておめでとうございます。

新年のご挨拶と病院長就任の報告をさせていただきます。

地域医療振興協会練馬光が丘病院として開院以来、地域の皆様、地域医療機関の皆様には、お世話になっております。2023年7月より病院長に就任いたしました。本年度も地域の皆様が安心して生活できる医療体制の確保に取り組んでまいります。

2022年10月には新病院が完成し、1年が過ぎました。当院は、2012年4月、日大光が丘病院より業務移譲され、歴代川上院長、光定院長のもと、『皆様とともに地域の発展に貢献します。』の病院理念を掲げ、基本方針である救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療の充実を図ってまいりました。

新病院では、放射線治療導入、ロボット（ダヴィンチ）手術導入、血液内科無菌室増床、化学療法室増床、緩和ケア専門医の招聘など、当院で完遂できる高難度がん診療の充実が進んでおります。今後も、練馬区はもとより、隣接する地域においては、高齢化がすすみ、様々ながんのさらなる増加が予想されます。

本年度は、これまでの医療体制の充実はもとより、がん診療においても、地域住民の皆様が、居住地の近くで安心して、治療を受けていただけるよう、職員一同『ONE TEAM』で診療体制の強化に取り組んでまいります。今後とも、ご指導の程、よろしくお願いいたします。



副管理者 兼 病院長
よしだ たかよし
吉田 卓義

明けましておめでとうございます。

全員参加の医療

私にとって医師51年目の新年です。主に外科医として働いてきました。最良の医療を目指してきました。やがて、ひとりでは無理だと分かりました。辿り着いたのが全員参加の医療です。

全員参加は、まず診療科の垣根を越えることでした。自分の専門の活用と裾野の広い領域カバーが大切だと分かりました。裾野が広いほど専門の頂点は高まることも知りました。

全員参加は、医療職全員が円陣を組むことでした。医師中心になりがちですが、誰がリーダー、誰がフォロワーでもよいと思いました。

全員参加は、医療職に限りません。院内の多職種連携では不十分、介護福祉・教育・宗教・法律の関係者にも関わってもらいたい、と思うことがよくありました。

全員参加は、患者・市民も関わることだと思いました。今までの改革、例えば安全対策・救急医療体制・地域医療構想・働き方改革は、すべて医療提供側の話でした。これからは医療を受ける受療側の改革だと思いました。

全員参加は、国民全員が医療の基本を学ぶことです。それには義務教育への医療学導入が前提になります。心肺蘇生処置は小学生から既に学んでいます。2020年度から小中高の学校にがん教育が導入されました。医療教育の充実と患者・市民の一層の医療参画（参療）が今後の課題です。

一般の人が知識を身につけるとクレームが増えると心配する人がいます。私の経験では逆です。医療のよき理解者になります。

新しい医療元年となることを願っています。



副管理者
ながい ひでお
永井 秀雄